

第6分科会 リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験 (part5)

2021年11月28日(日) 10:00~15:30



【6】リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流 (part5) ・連絡先: s.nakano@d012.dant2.jp (中野)

・設置趣旨: リニア記事の回数と内容は、この数年で格段に広がった。外環道工事での道路陥没被害は、大深度法適用の深刻な問題を提起し、リニア計画への重大な警告ともなっている。熱海の土石流災害は残土処理の安全問題をあらためて浮き彫りにした。朝日新聞社説(2021.7.5)は、「JR東海と国交省はいったん立ち止まって事業の是非を再検討し、地元と真摯に対話することが求められる。」と主張している。所属自治体や異なる環境の住民が要求を異にすることは当然であり、その要求実現のために「リニア工事差し止め」の声が広がっている。川勝氏が「リニアより水を」の要求を掲げて知事選で圧勝したように、リニア問題で顕著となった地域要求実現のために連帯して、その運動が「計画の撤回と中止」を求める運動に大きく合流する研究集会にしましょう。

座長: 長田好弘(武蔵野通研分会)、中野貞彦(武蔵野通研分会)、橋本良仁(高尾分会)

10:00~10:15 座長あいさつ

10:15~10:35 (1) 春日昌夫(飯田リニアを考える会・事務局): リニア残土処分を巡る最近の状況—長野県・伊那谷の場合—

10:35~10:55 (2) 桜井真理(リニア新幹線を考える相模原連絡会): リニア駅工事とトンネル工事による橋本地域の住民生活への影響—東京外環道陥没事故を受けて—

10:55~11:15 (3) 庄司善哉(岐阜支部): 中央新幹線中部総合車両基地造成と汚染残土

11:15~11:20 <休憩>

11:20~11:40 (4) 前田定孝(三重支部): 名阪区間での新しいたたかいと展望—通過地・三重県内でのとりくみが始まった—

11:40~12:00 (5) 大塚正幸(東京支部): 外環道陥没事故が暴いた安全神話と大深度法制の不条理

12:00~12:15 <討論>

<昼食休憩>

13:15~13:35 (6) 林 克(リニア問題を考える静岡県ネットワーク): 静岡のリニア問題—有識者会議の到達点と静岡県知事選—

13:35~13:55 (7) 桜井 徹(日本大学名誉教授・国士舘大学経営研究所特別研究員): 米国におけるリニア建設計画の現段階—環境影響評価準備書(DEIS)を中心に

13:55~14:15 (8) 川村晃生(慶応大学名誉教授): リニア新幹線開通への危険信号

14:15~14:25 <休憩>

14:25~14:45 (9) 和泉貴士(東京弁護士会・弁護団事務局次長): 「ストップ・リニア! 訴訟」の現状と課題—参加型訴訟における原告適格論の壁と、アセス法—

14:45~15:15 <討論>



15:15~15:30 閉会あいさつ

参加費無料 参加される方は参加登録が必要です!

登録方法は、日本科学者会議東京支部HPの東京科学シンポジウムに掲載されています。

日本科学者会議東京支部⇒東京科学シンポジウム⇒参加登録フォームとお入り下さい。

また以下からも入ることができます。(予稿集申し込み、寄付のお願いもあります。)

<https://docs.google.com/forms/d/e/>

[1FAIpQLSfRYuFD9sS2Atpv060Buk1a0wxyG7MfryBfg4WPkSNWFep1Q/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfRYuFD9sS2Atpv060Buk1a0wxyG7MfryBfg4WPkSNWFep1Q/viewform)

東京科学シンポジウムは、どなたでも、どの企画にも参加できます。上記の方法でまずは参加登録して下さい。登録後、全ての企画の のついたメールが届きます。ご自分が参加したい企画の を選んで入場してください。各企画の詳しいプログラムは、3rdサーキュラーに